

# 相談室だより (米の山) 2014年5月

お疲れ様です。米の山病院の坂口です！

4月から消費税が5%から8%に増税し、財布からお金がどんどん飛んでいくのを実感します。あれもこれも値上がりし、あらためて消費税の影響力の大きさを感じます。払える能力のあるなしに関わらず負担をしなければならない消費税は、特に低所得の人たちには大きな負担となります。消費税率引き上げによる増収分は全額「社会保障の安定化と充実」に充てることとされていますが、これでは社会保障が安定する前に、私たちの「毎日」の生活が送れなくなってしまいます。また、医療にかかれぬ人が増えていくことも予想されます。

先日、無料低額診療事業の更新のための面談で消費税増税の影響を聞いてみました。患者さんたちの生活実態について報告します。

## 【事例概要】

53歳、男性、妻と2人暮らし。

脳出血発症しリハビリ目的にて2013年5月に当院入院後、高血圧で外来フォロー中の方です。これまでバイク便などの仕事をされていましたが、脳出血発症され、失業となりました。脳出血発症による麻痺はほとんどなく、日常生活には問題ありませんが、失語症でうまく話せないことと、高次脳機能障害による注意力低下がみられています。

昨年5月の入院時に、入院費が払えないということで分割での支払い相談を受け、無料低額診療事業申請となりました。入院時(2013.5.8)無料の判定で承認され、6カ月ごとに面談を実施しています。今月、3回目の更新のために面談を行いました。

奥さんは食品工場パートとして働かれており、パート収入約12万円です。しかし、勤務時間や残業時間にバラツキがあり、月で収入の変動があります。多い時で14万円、少ない時は11万円程度です。

このご夫婦が生活保護を受給する場合、生活扶助費(生活費)としていくらくらいになるかという、107,000円程度で、奥さんのパート費用を少し超える程度です。

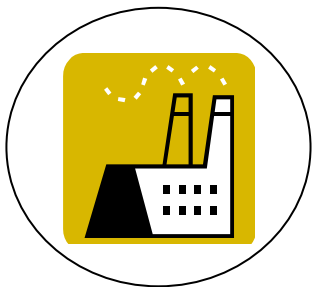
今回、家賃滞納があるためアパートの立ち退きが必要になり、26.1月、空き家に引っ越しを余儀なくされています。引っ越しに関わる費用、敷金、家賃未納分などは分割支払い中です。保険料滞納や社会福祉協議会への借金もあり、これらも分割支払い中です。夫婦共にまじめな性格で、面談ではいつも申し訳なさそうに、恥ずかしそうに生活についてポツリポツリ話されます。分割の支払いも、月々1,000~3,000円程度のこともあるそうですが、少しずつ支払われており、ガスレンジ台、米代も分割支払い中です。食事の基本であるお米代を分割支払いされていることを聞き、私は正直驚きましたが、お店としてもこの夫婦の真面目な人柄を見て、分割を認めているんだろうと推測することができます。

消費税増税による影響についてお伺いをしたところ、ガソリン代も上がり、買い物に不便な地域のため、買い物に行くこと自体もつたいなく感じておられ、もう我慢するところがない、節約するところが



ないとおっしゃっていました。働いて入ってくる給料は増えるどころか、仕事量が減り、給料も減っている状況で、出ていくお金まで増えてしまったら、今やっと 1,000 円でも捻出して返済している分も返せなくなる。そうすれば、また利子がつき、返さなければならない金額が増え、返済がいつまでも終わらなくなってしまう、と、せきを切ったように話されました。

ご主人もなんとか仕事をしなければ、と、求職活動をされていましたが、仕事が見つからない日が続いていた。53 歳という若さで、体の動き等には問題がない状況で、気持ちの葛藤はあられたかとは思いますが、思い切って障害者雇用での求職活動に切り替えられ、社会福祉協議会に相談へ行かれました。そこで、※就労継続支援という事業を利用し、現在、しいたけ工場で就労訓練中です。



**※就労継続支援事業**・・・通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上のために必要な訓練その他の厚生労働省令で定める便宜を供与するサービス。就労に対する給与は発生するが、事業利用に対するサービス費用を支払う必要がある。

退院後は高血圧の継続治療が必要とのことで、2ヶ月に1回、来院されています。外来自己負担額、医療：600～1,500 円/回、薬局：7,000 円/回程度です。薬局負担も大きく、無料の承認を受け、治療を続けていらっしやいます。

失業や病気などによって経済困窮に陥った人を救う役割を担うのが「社会保障」。その「社会保障」の安定のための消費税増税が、「社会保障」が必要な人たちの首を絞めるのは本末転倒だと感じます。払える能力に応じた税金の徴収やこれ以上貧困に陥らないような仕組みづくり、また貧困から脱出できるような仕組みづくりが実現されなければならないと感じました。

先日・・・

外来の看護師さんから、「いつもくる患者さんが元気ないみたい。相談にのってもらえない？」と連絡がありました。

さっそく、無料低額診療事業の活用も含めて面談を行いました。

こういうスタッフの気づきが、介入・面談・支援につながっていきます。

気になる患者さんがいないかアンテナはってみてください。

※ 来月は みさき病院 ソーシャルワーカー 山下 が担当します！  
えう、ご期待！！

